

平成24年3月31日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦様

陸前高田市議会新志会

会長 菅原 悟



政務調査活動概要報告書

政務調査費に関する取り扱い要綱第6条第2項の規定により、平成23年度政務調査活動報告をいたします。

記

1. 調査事業

- (1) 実施日 平成23年10月24日(月)～26日(水)
- (2) 場 所 国会議事堂(総務副大臣室ほか)、内閣府
- (3) 参加者 会長 菅原 悟、 幹事長 佐々木一義、 顧問 菅野 稔、
会員 伊藤明彦、 会員外 鶴浦昌也 以上5名

(4) 行 程

10月24日(月) 陸前高田市6:45発～一ノ関駅9:06発～東京駅11:28着～
赤坂見付駅～ホテル

10月25日(火) 国会議事堂到着～黄川田徹事務所～農林水産委員会傍聴
(11時00分～11時20分)～菊地長右エ門衆議院議員と意見交換
(11時25分～11時35分)～昼食～黄川田総務副大臣と意見交換
(13時40分～14時25分)～畠山直哉震災写真展見学
(15時00分～16時00分)～ホテル

10月26日(水) ホテル9:00発～内閣府行政刷新会議室 熊谷哲事務局長と
意見交換(09時30分～10時45分)～平野達男東日本大震災復興
対策担当大臣と意見交換(11時00分～11時55分)～東京駅
14:40発～一ノ関駅17:13分着～陸前高田市着



(5) 調査項目

- ①農林水産業の被害状況について
- ②被災者生活支援制度の申請期間延長について
- ③復旧・復興対策について
- ④事業仕分けの進捗状況と課題調査
- ⑤国の震災対策の進捗状況と課題調査
- ⑥復興に向けた課題解決のための意見交換

(6) 調査概要

10月24日は、移動日。

10月25日には、黄川田徹衆議院議員事務所へ訪問し、その後、農林水産委員会を傍聴した後、菊地長右エ門衆議院議員から、農林水産業の被害状況等についてお話を伺いました。早急な復旧・復興に向けた対策等を早める必要があること等、意見交換を深めました。

国会議事堂内にて、本県選出の国会議員より、国の復旧・復興対策等についてお話を伺い、意見交換を行いました。

午後には、国会議事堂の総務副大臣室で、黄川田徹総務副大臣から、復旧・復興対策やその進捗状況等についてお話を伺いました。また、本市の復旧状況と復興に向けた復興の素案づくりの経過と今後のまちづくりについて等、課題解決のための意見交換も行いました。

特に被災者生活支援制度については、被災者に見れば深刻な状況下の中で、加算支援金(建設・購入の場合200万円等)は災害発生日から37ヶ月以内となっており、防災集団移転事業や区画整理事業を今後実施するにあたって、申請期間が間に合わないことが懸念されることから、制度を研修するとともに申請期間の延長について意見交換を行いました。

その後、陸前高田市の被災状況や気仙川の被害状況の写真が展示されていた、本市出身の畠山直哉氏による写真展「ナチュラル・ストリーズ」を見学するため、東京都写真美術館を訪れ、改めて被害の甚大さを全国に発信している状況を見学しました。

10月26日には、内閣府にて、大船渡市出身である内閣府行政刷新会議事務局次長である熊谷哲氏と会談し、行政刷新会議での事業仕分け進捗状況や刷新の内容について研修しました。行政刷新会議事務局長である加藤秀樹氏の霞ヶ関文化の

刷新(役所仕事の効率化)では、業務の見直しを行うことが霞ヶ関全体の改革に不可欠であることから、霞ヶ関の仕事の進め方の現状・課題・方向性を整理し、効率化・簡素化を進めたいとのこと。行政刷新会議は平成21年10月22日の第1回から平成23年10月20日開催の第21回を重ね今後も続けていく予定となっているとのこと。

熊谷次長からは地域の課題解決のためであったら何でも相談にのるとの力強い言葉もいただきました。

その後、平野達男東日本大震災復興対策担当大臣と会談し、国の復興対策等を研修し、また本市の震災対策等についても意見交換を行いました。防潮堤や気仙川河口部水門整備、国営公園(防災メモリアル公園)の設置、被災者生活支援制度の申請期間の延長等についてお話を伺い、意見交換を行いました。大臣からも制度等の見直しをするべき点は見直していかなければならないと前向きなお話もいただきました。

2日間の研修でありましたが、今後も研修したことを糧に、陸前高田市の一日も早い復興に向けての活動を続けて行くことを肝に銘じ報告とさせていただきます。

2. 調査事業

(1) 実施日 平成24年2月20日(月)～21日(水)

(2) 場 所 大槌町役場仮庁舎
たろう観光ホテル(宮古市田老町)

(3) 参加者 会長 菅原 悟、 幹事長 佐々木一義、 顧問 菅野 稔、
会員 伊藤明彦、 会員外 鶴浦昌也 以上5名

(4) 行 程

2月20日(月) 陸前高田市8:00発～大槌町視察(10時00分～11時00分)～
山田町内昼食～久慈市～ホテル

2月21日(火) ホテル9:00発～たろう観光ホテル視察(11時00分～11時35分)～宮古市内昼食～宮古市街地～藤原埠頭～山田町大沢漁港
～陸前高田市16:00着

(5) 調査項目

- ① 大槌町 被災概要及び東日本大震災津波復興計画基本計画
- ② たろう観光ホテル 被災概要及び今後の防災への取組について

(6) 調査概要

2月20日(月)には、大槌町役場仮庁舎へ訪問し、町長室で駒木主幹より大槌町の被災概要として、救出・行方不明者捜索等の状況や遭難者の状況・民有地がれき撤去の進捗状況・応急仮設住宅の入居状況・災害義援金等の状況・役場仮庁舎について・支援の状況・産業の復興状況、大槌町東日本大震災津波復興計画基本計画についても資料を基に説明を受けました。

いまだ大勢の行方不明者がいるのは、津波による犠牲者のほかに、火災による犠牲者が多いことによるものでした。

説明を受けた後、碓川町長と意見交換を行い、その後、議長室で阿部議長・議員との被災状況等意見交換を行い、お互いに早急な復興に向けた活動を誓い合いました。

2月21日(火)には、久慈市内の被災状況を視察しながら、田老町へ向いました。

11時00分より、4階まで浸水されました、たろう観光ホテル6階客室でホテルの社長さん・吉水 誠(元宮古市企画課長・元田老職員)さん二人から社長がホテルの6階より映像したビデオで津波の状況や破壊された10メートルの防潮堤の現状や今後の防潮堤について説明を受けました。

さらに、田老町の津波防災対策概要や浸水区域と建物被害状況等を資料基に説明を受け意見交換を行いました。

2日間の被災地視察を糧に陸前高田市の一日も早い復旧・復興に向けて活動をさせていただきます。